

縁起物100点ずらり

F517-16

「郷土玩具の世界―えんぎものを集めて」が、松戸市松戸の聖徳大生涯学習社会貢献センターで開かれている。雛人形など、四季折々の行事に合わせた縁起物をテーマにした展示。東北地方から沖縄まで、全国各地の珍しい郷土玩具が並び、見学者を喜ばせている。

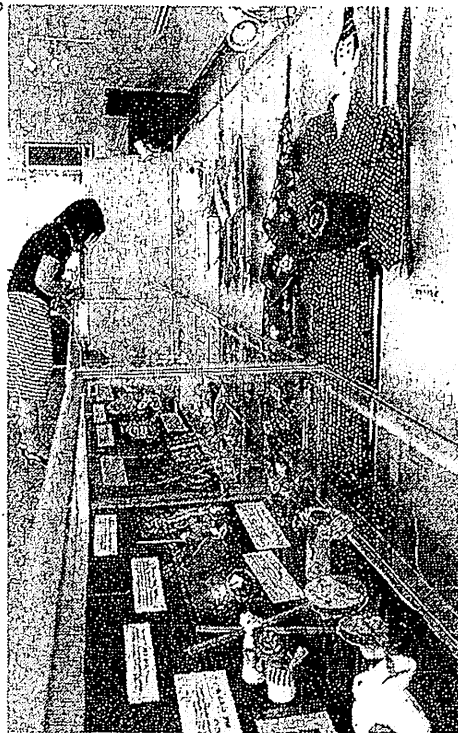
展示品は青森県の「金魚ねぶた」や東京都の「羽子板絵馬」、鹿児島県の「綱車」など約百点。同大人文学部生涯教育文化学科の神谷明宏准教授が、趣味で大学生の時から収集した玩具で、特に珍しい

「郷土玩具の世界―えんぎものは長野県松本地方に伝わる「七夕人形」だという。これらのほかにも多くの所蔵品があり、テーマを変えながら来生三月末まで郷土玩具展を続ける。縁起物の後は「動くもの・遊べるもの」を予定。入場無料。

会場はJRと新京成の松戸駅東口から徒歩約一分。日曜と祝日は休館。問い合わせは同大生涯学習研究所☎047(3665)5691へ。

(川田栄)

郷土玩具展
松戸の
聖徳大



大人も楽しめる全国各地の郷土玩具を紹介した展示。松戸市で